



先端技術で
社会と産業の進化を支える

第**67**期 報告書

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日



証券コード:7472



株式
会社

鳥羽洋行

株主の皆様へ

最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申しあげます。さて、このたび平成28年6月24日付にて代表取締役社長に就任いたしました鳥羽重良でございます。前社長同様のご支援を賜りますようお願いいたします。ここに、当社第67期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、当期の概況をご報告するとともに、ひとことご挨拶申しあげます。

鳥羽洋行



当期の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経済環境を概観しますと、米国経済は期を通して緩やかな景気回復基調で推移いたしました。欧州経済は昨年前半まで回復に向かっておりましたが、昨年後半における欧州金融機関の信用リスクが顕在化するとともに回復のスピードは鈍くなっております。また、中国をはじめとする新興国経済は、米国の連邦準備制度理事会（FRB）の出口戦略に起因するとされる原油価格の下落とドル高の影響で、一段と景気は減速する様相を見せており、世界経済全体に景気の踊り場入りする懸念が強まっております。一方、わが国におきましては、当連結会計年度の前半までは回復基調で推移してきましたが、昨年末から始まったグローバル金融市場の動揺、原油価格の再下落、及び円高の進展等が影響し、日銀がマイナス金利を導入せざるを得ない状況に至っており、国内景気の先行きも不透明感を増しております。

このような経営環境の中で、当社グループは人件費高騰が続く国内外のあらゆる製造業におけるコスト削減のための省力化・自動化設備導入に欠かせないFA機器や制御機器を中心に、内外のデジタル家電や自動車・車載部品に関連

する得意先を中心に積極的な販売活動を推進いたしました。

以上の結果、売上高は228億81百万円、営業利益は12億79百万円、経常利益は13億79百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は8億95百万円となりました。

株主の皆様に対する配当方針につきましては、安定的な配当の継続を目指すとともに、株主の皆様に対する公明性を明確にした業績連動型の配当性向を基本に考えております。

当社は、平成28年9月15日をもちまして創業110周年を迎えます。これもひとえに長年に亘る株主の皆様並びに関係各位のご支援の賜物と感謝申しあげ、当期の期末配当金につきましては、普通配当60円に記念配当40円を加え、1株につき100円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成28年6月

代表取締役社長 鳥羽 重良

取扱商品実績

部門別概況

制御機器

生産工場の構成には欠かせない

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、国内製造業における設備投資需要に支えられ、制御機器全般の需要が好調でありました。とりわけ半導体製造装置等に関連する得意先からの空気圧機器や流体継ぎ手等の販売が好調であったことにより、制御機器全体の売上高は77億32百万円となりました。

FA機器

工場の自動化・コストダウンを実現

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、国内及び海外（中国）のデジタル機器やOA機器に関する得意先における省力化のための設備投資需要が旺盛であったことにより、FAロボット、直動システムの販売が大幅に伸びました。また、自動車・車載部品に関連する得意先からのプラズマ洗浄機の販売も前期同様堅調であったことに加えてレーザー加工機、及び精密塗布装置等の需要も堅調であったことにより、FA機器全体の売上高は105億60百万円となりました。

産業機器

生産組立て作業に使用されている

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、国内における幅広い得意先における設備投資需要に支えられ、電動ドライバーやクリーンルーム等の販売が好調でありました。さらには、ろ過フィルターの販売も前期に比して5割アップと大きく売上に貢献したことにより、産業機器全体の売上高は45億87百万円となりました。

売上高

当期（連結）

平成28年3月期



前期（単独）

平成27年3月期



()内は構成比

お知らせ

当社ホームページを本年4月に更新いたしました。
製品のご案内、企業情報、株主・投資家の皆様へ、採用情報等の当社の情報を満載し、従来の当社ホームページに比して観やすくなったとの好評を得ております。
株主の皆様におかれましては、是非ご覧くださいませようお願い申し上げます。

(当社ウェブサイト: <http://www.toba.co.jp/>)

財務ハイライト

業績の推移

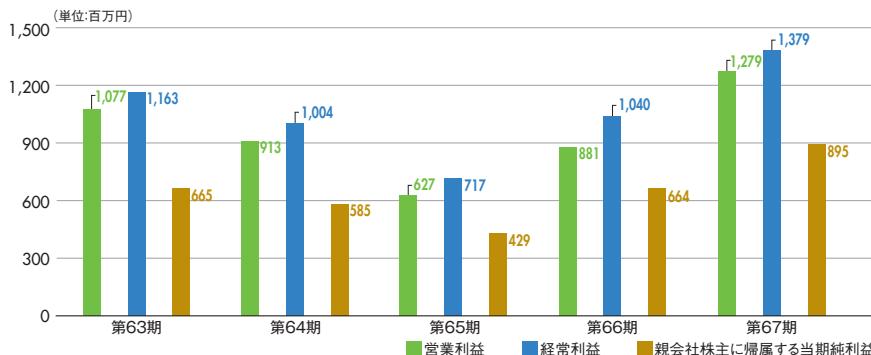
売上高 **228.81** 億円

売上高



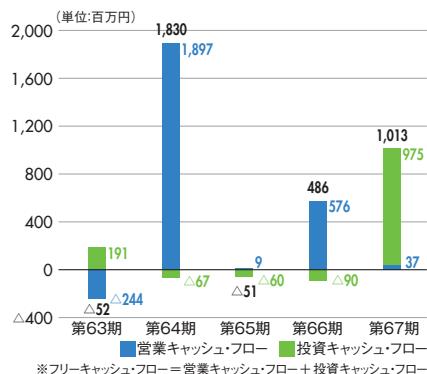
営業利益 **12.79** 億円 経常利益 **13.79** 億円 親会社株主に帰属する当期純利益 **8.95** 億円

営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



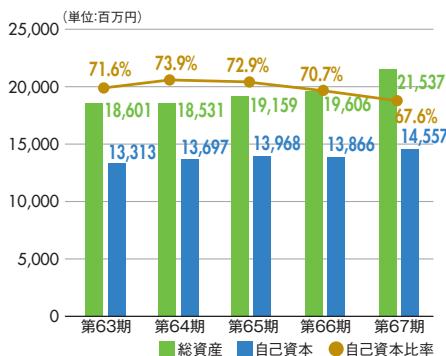
フリーキャッシュ・フロー
キャッシュ・フロー **10.13** 億円

営業キャッシュ・フロー/投資キャッシュ・フロー/フリーキャッシュ・フロー



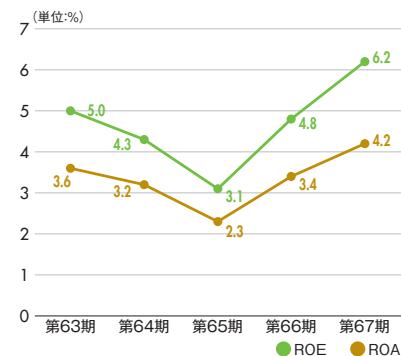
総資産
資産 **215.37** 億円

総資産/自己資本/自己資本比率



ROE ROA
利益率 **6.2%** **4.2%**

ROE/ROA



(注) 当期より連結決算に移行しております。前期までの数値につきましては、単独の数値です。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成28年3月31日現在)
資産の部	
流動資産	17,395,527
固定資産	4,142,437
有形固定資産	1,924,203
無形固定資産	74,317
投資その他の資産	2,143,916
資産合計	21,537,964
負債の部	
流動負債	6,730,039
固定負債	250,591
負債合計	6,980,631
純資産の部	
株主資本	14,118,818
その他の包括利益累計額	438,514
その他有価証券評価差額金	326,641
為替換算調整勘定	111,873
純資産合計	14,557,333
負債及び純資産合計	21,537,964

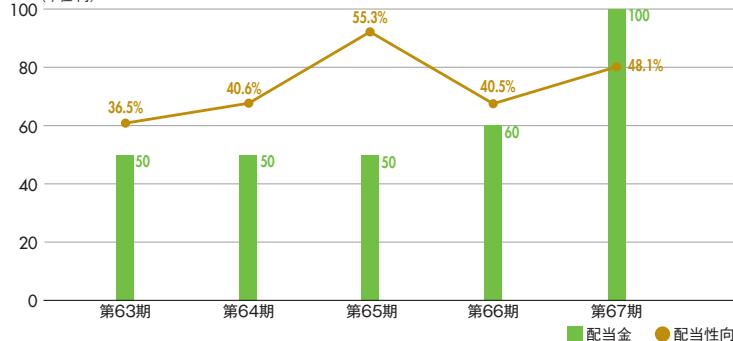
連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
売上高	22,881,077
売上原価	19,429,453
売上総利益	3,451,624
販売費及び一般管理費	2,171,795
営業利益	1,279,828
営業外収益	119,169
営業外費用	19,424
経常利益	1,379,572
特別利益	789
税金等調整前当期純利益	1,380,362
法人税、住民税及び事業税	489,100
法人税等調整額	△4,499
親会社株主に帰属する当期純利益	895,762

1株当たりの配当金推移

(単位:円)



※1. 第67期配当内訳、普通配当60円、記念配当40円
 ※2. 第63期から第66期の配当性向は単体ベース

株主還元に関する基本方針 (平成28年5月13日発表)

- ・ 1株当たりの配当金40円を下限
- ・ 連結配当性向は35%以上
- ・ 自己株式取得等にも機動的に対応

会社情報

会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日(創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。 古物売買業。

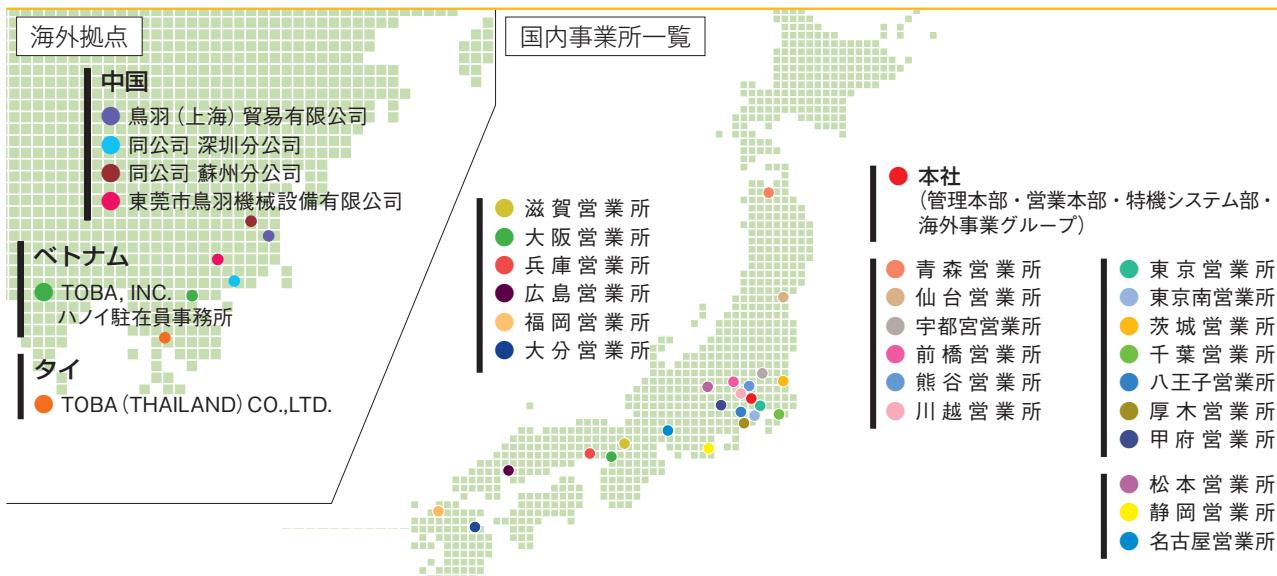
従業員数 連結223名 単独197名(平成28年3月31日現在)

(注) 従業員数には、他社への出向者及び嘱託社員を含んでおりません。

役員 (平成28年6月24日現在)

代表取締役会長	三浦直行
代表取締役社長	鳥羽重良
常務取締役	遠藤稔
取締役	松永健一
取締役	千國哲王
取締役	谷逸夫
常勤監査役	廣田透
監査役	廣瀬勝一
監査役	森真一
監査役	早崎信

営業ネットワーク (平成28年4月1日現在)



株 式 情 報

(平成28年3月31日現在)

株式数及び株主数

発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	5,000,000 株
株主数	3,764 名

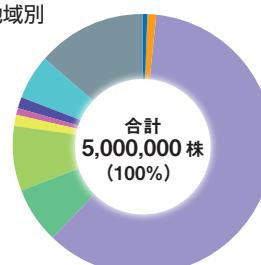
株式数分布状況

所有者別



個人・その他	2,689,329株 (53.79%)
金融機関	418,600株 (8.37%)
その他国内法人	845,903株 (16.92%)
外国人	290,300株 (5.80%)
証券会社	88,870株 (1.78%)
自己株式	666,998株 (13.34%)

地域別



北海道	6,908株 (0.14%)	中国地方	32,307株 (0.65%)
東北地方	25,521株 (0.51%)	四国地方	14,413株 (0.29%)
関東地方	3,172,673株 (63.45%)	九州・沖縄地方	36,177株 (0.72%)
中部地方	348,263株 (6.96%)	国外	290,800株 (5.82%)
近畿地方	405,940株 (8.12%)	自己株式	666,998株 (13.34%)

I R 情 報



(会社説明会:平成27年8月8日 東京にて)



(会社説明会:平成28年2月13日 大阪にて)

当期のIR活動実施状況

平成27年3月期 決算説明会
(開催:平成27年5月19日)

※個人投資家向け会社説明会 in 東京
(開催:平成27年8月8日)

平成28年3月期 第2四半期 決算説明会
(開催:平成27年11月26日)

※個人投資家向け会社説明会 in 大阪
(開催:平成28年2月13日)

※個人投資家向け「株主還元フェスタ」に出展
(開催:平成28年2月27日)

※主催:大和インベスター・リレーションズ株式会社

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (http://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、単元未満株式の 買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

株主優待制度のお知らせ

制度の内容は、下記のとおりであります。

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
	オリジナル・クオカード 3,000円相当を進呈 	オリジナル・クオカード 1,000円相当を進呈 
	継続保有3年以上	
	オリジナル・クオカード 6,000円相当を進呈	オリジナル・クオカード 2,000円相当を進呈

(注) 継続保有3年以上の確認にあたっては、平成25年3月末日以降、毎年3月末日の株主名簿に同一の株主番号で、連続して4回以上記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。



株式会社 鳥羽洋行

〒112-0005 東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎ (03) 3944-4031
<http://www.toba.co.jp/>